

令和6年 1月11日 (木)

山形県ルーラルイノベーションセミナー

プログラム 13:00 開場 (13:30 オンライン配信開始)

14:00 開会 主催者挨拶 ■山形県知事 吉村 美栄子

14:05 基調講演 ■OECD ドロテ・アラン・デュプレ 課長

OECDの取組み：地域政策、農村政策の視点から



■ドロテ・アラン・デュプレ

OECD (経済協力開発機構) CFE 地域開発・マルチレベルガバナンス課長
CFEの地域開発およびマルチレベルガバナンス部門の責任者であり、OECDの地域開発政策委員会の取組を推進。地域パフォーマンス、地域格差の緩和、農村開発、地域の魅力、地方分権化、公共投資、地域・地方財政などの分野における地域開発政策と多層ガバナンスを推進する取組みに関して、OECD加盟国およびパートナー政府への支援の提供を行っている。

14:25 山形県の取組み紹介 ■山形県 農林水産部 農村計画課長 草 大輔

山形県の農山漁村地域づくりプランナーの取組

14:35 有識者の視点 ■明治大学 小田切 徳美 教授

農村プロデューサーとルーラルイノベーション (地域づくり) ※録画映像



■小田切 徳美 (おだぎり とくみ)

明治大学農学部 教授
神奈川県生まれ。専門は、農政学・農村政策論、地域ガバナンス論。東京大学助教授等を経て、2006年より現職。国内外の農村を歩き、集落レベルから国の政策レベルまでの実態を研究し、政策提言を行っている。農村プロデューサー養成講座講師。地域づくり等に係る調査で何度も来県している。

14:55 Japan Studyの中間報告 ■OECD 野々村 圭造 分析官

地域発ルーラルイノベーションに必要な農村プロデューサーの役割



■野々村 圭造 (ののむら けいぞう)

OECD (経済協力開発機構) CFE 地域開発・マルチレベルガバナンス課政策分析官
OECD/CFE (起業・中小企業・地域・都市局)政策アナリストとして、農村イノベーションおよび第一次産業関連のプロジェクトに従事。2021年9月より農林水産省からOECDへ出向中。農林水産省では土地改良を中心に農業政策や農村政策も幅広く担当。2021年の農村プロデューサー養成講座開始時の担当。

15:25 パネルディスカッション

農村の未来を持続可能とするルーラルイノベーションとは

■パネラー：

OECD CFE ドロテ・アラン・デュプレ 課長
野々村 圭造 分析官
農林水産省 長田 恵理子 農村政策推進室長
山形県 高橋 信博氏
末永 玲於氏

■高橋 信博 (たかはし のぶひろ)

山形県農村づくりプロデューサー
山形県白鷹町生まれ。農業土木の技術者として、県内の農業農村の振興及び基盤整備の推進に携わり、地域づくりの普及と実践活動を支援してきた。県内外1,000か所以上の地域に関わり、ワークショップ形式を用いた集落の話し合いのノウハウを有する。

■末永 玲於 (すえなが れお)

株式会社ローカルインキュベート 代表取締役
富山県生まれ。2019年より山形県村山市を中心に「関係人口創出」事業に携わり、その縁がきっかけで村山市に移住。慶應義塾大学経済学部在学中に起業。



■進行：山形県農村計画課 草 大輔

16:00 閉会